

横田基地 フィールドワーク

—「オスプレイ配備 飛行訓練 絶対反対！」—



日 時：9月23日(土) 9時集合
集 合：9時 JR青梅線 拝島駅北口 ロータリー
講 師：福本 道夫氏 (第9次横田基地公害訴訟原告団長)
参加費：2,000円 (貸切バス利用)
募集人数：22名(先着順)

【 当日の主な行程 】

拝島駅北口(9:00) — 昭島市環境コミュニケーションセンター — 横田基地サウスゲート — 横田基地東側 — ドンキ・ホーテ瑞穂店 — 横田基地西側(第五一ト) — (12:10頃 昼食:イトーヨーカドー) — 昭島市公民館(講演会)終了(15:00)

現在、横田基地には第5空軍司令部と在日米軍司令部が置かれています。第5空軍は、世界のあらゆる地

域に「緊急展開・対処」しうる戦闘機や輸送機を保有した、「空の殴り込み部隊」とも言えるもので、横田基地にはこの司令部が置かれています。この間の米軍再編で、移転が検討されましたが、日本側の慰留で残った経緯があると言われていています。在日米軍司令部は、軍人のほかに米国防省のスタッフ等で構成され、アメリカの戦争政策に沿って、作戦・計画の研究・立案、日米合同演習の計画・指揮などを主な任務としています。横田基地が果たす役割はアメリカの世界戦略とともに変化してきましたが、現在の機能を一言で表現すれば(青森・三沢基地と沖縄・嘉手納基地が戦闘・攻撃部隊の役割を担っていることに対し)、「輸送中継基地としての機能とともに、司令部の役割を担っている」基地です。今年3月には、訓練飛行の名の下に、転換モードで校庭の上を我が物顔で飛行するオスプレイ2機編隊を何度も見て、背筋が凍る思いがしました。今年度中の配備が予定されています。オスプレイの危険性を学び、配備阻止に向けて、共に立ち上がりましょう。

※ 参加希望者：西多摩教組へFAXまたは電話で(分会名・氏名・連絡先)お知らせ下さい。 西多摩教組：0428-22-6899